

高松山（花女郎道）

山行日：2014.03.16 単独

天候：晴れ

コース：新松田/6:55－田代向/7:10－虫沢/7:32－取付き/8:00－ヒネゴ沢乗越/8:48
－ジャンクション/9:05－八丁/9:45－人遠/10:45－取付き/11:00－ホギリ
山ノ神/12:28－ジャンクション/13:32－高松山/13:55－虫沢林道/14:50－
田代向バス停/15:20－休養村鱒釣場バス停/15:35



虫沢集落と高松山の山向こう八丁、人遠集落ではともに平地が少なく、山仕事で生計を立てていた。お互い婚姻関係にあり、花嫁が家財道具を牛馬の背中に乗せて行き来していた山越えの生活道路は「花女郎道：はなじょろ道」と呼ばれた

中津川河畔から
栗ノ木洞
鍋割山が見えていた

檜岳は残雪が少し
あるようだった



田代向バス停から
川に沿って20分
のどかな
虫沢集落へ入る
シダンゴ山と
向こうに
なだらかな
高松山



騒々しい花女郎道の入口 8:00
 氣勢がそがれる
 しばらくは明るい植林の中だが・・・



じきに沢に沿った明るい自然林となり
 やがて取り付き後50分でヒネゴ沢乗越の稜線に出る



このコルからトラバースして八丁の尾根に行けるようだが
 正規の道から行くことにする



直角に曲がる分岐を
 右へのバリルートへ
 降りてゆく

林道秦野峠と檜岳
 奥に白い山稜は
 蛭ヶ岳方面



650mの三叉路（ジャンクション）、予定のコース設定は左の657m（西高松山）経由で人遠集落に降りて八丁から登り返すとの予定であったのだが



人遠の標識を意識していたため、高杉の名前は知っていたが、人遠方向とは認識していなかった



よってここからの分岐ではないと勝手に判断しばらく降りてから左にそれらしき尾根が見え右には大きな沢がありそれに沿って降りているようやく八丁に向かっていることに気付く

日影山からのブツエ峠～林道秦野峠





自然林が多く炭焼き釜跡がある

このような急斜面を実際に
花嫁が行きしていたのだろうか



道標に大日陰とあるが何処を指すのか分からなかった
どうも山林域の地名のようではある



皆瀬川に降り立ったが水量が多くて
渡渉も覚悟したが丸太橋があった
9:54 着
林道に上がり下流人遠を目指す
鱒の養殖場の2匹の犬がいつまでも
吠え続けてうるさかった



ゲートがあり手前の道が集落への道
両側に家が点在している





八丁集落の中心部外れに八丁橋



結構人家もあり別荘らしきものもある



15分で人遠集落

集落は橋手前左へ林道を上った先に集落があるようだ。取り付き箇所を見落とし行き過ぎ急峻な沢となりおかしいと判断、橋まで引返す



人遠橋付近から西北西尾根を上るつもりだが川底が深くどうも違うようだ。人遠橋脇の階段に取り付く

植林帯の急登をこなすと
明るく開けた自然林となる
(後日、橋脇の人家から右に取り付き
小さな沢を渡渉して西北西の尾根に入る
ことができることを知った)





どうも方向と地形から西北西尾根ではなく
1本北側の尾根を登っているのに気付く



コンパスの方向、高度計を合わせて、西北西尾根へ進み
「ホギリ山ノ神」方向に向かうが直ぐに賑やかにマークが
あったが、これほど近いと思わずさらに下降する



荒れた
どうしようもない平坦な尾根に出た

ピークが平坦な防火帯に着く 11:58
ここが620mのようだ



70m下降してそれらしき尾根がなく
下降しすぎていることに気付き元に戻る
先程のマーキングの場所がそのようだ
30分のロスタイム
やはり防火帯の急斜面を慎重に70m
下ってゆく



山北町には相当の面積の焼畑（雑畑とも言われる）があったといわれ八丁集落近くの山林には焼畑跡**ホギリ**という防火線がある。焼畑を荒らす獣たちを追い払う狼と山火事防止、豊作を恵む山の神像である

自由国民社版 丹沢自然ハンドブックより

狼の頭が載っている地蔵は

550m地点の杉の根元に鎮座していた

鑑賞後、尾根まで登り返す。結構な急勾配である



高松山へ向かう

稜線も平坦な防火帯である。方向を定めて進む



4時間掛けて降り出しのジャンクションに到着 13:32



高松山に疲れた足で辿り着く

14:05



しばらくは仕事道で降ったが
尺里峠方向に向かっているので
コンパスの方向（虫沢林道）荒れた植林
帯を降りる

沢に沿った鹿柵を伝って急な斜面を行く



かなり荒れた尾根で
潜ったり避けたりして慎重に降りる



やがて登った沢の隣、太尾橋脇に
降り立つ 14:51

田代向バス停に向かう途中の
林道脇の山ノ神に美味しそうな八海山の日本酒が
置いてあった





なぜか懐かしい山里の風景である

日向向バス停に早く着きすぎてしまい、先のバス停までのんびり歩いて
休養村ます釣場前バス停で乗車して帰路につく



今回の歩いたコース

